デジタルきっぷプロジェクト（大阪府泉佐野市）

買い物×交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
デジタルきっぷ共創プラットフォーム
【実施主体】南海電気鉄道株式会社
【共創パートナー】株式会社ビーマップ
泉佐野市（自治体）

地域課題

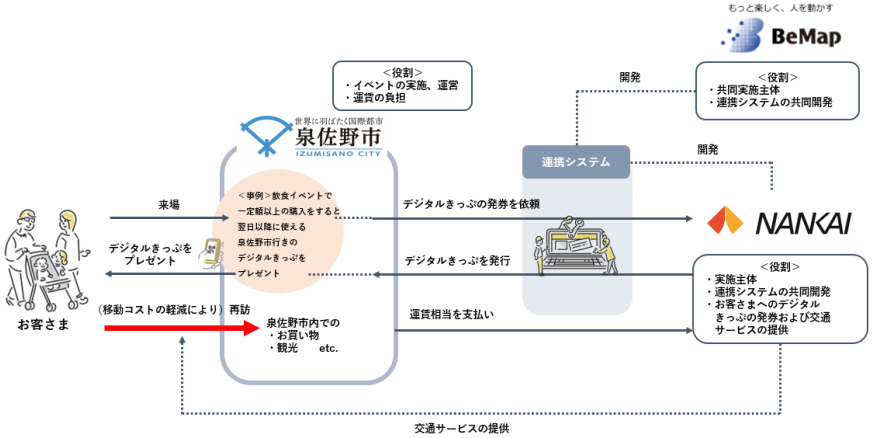
コロナ禍やデジタル化の加速によって人の移動は減少しており、リアルの店舗やイベントへの来場および売上も減少している。その結果、地域経済に負の影響がもたらされている。

実証事業の内容

- 本事業は、南海電鉄のデジタルきっぷを地方公共団体や商業施設がそれぞれの条件を満たしたユーザーに提供することで、移動コストの低減を実現し、地域の活性化とともに公共交通の利用促進を図る。
- 泉佐野市において、同市が主催する「飲食イベント」「eスポーツイベント」の来場者が一定額の消費を行った場合、デジタルきっぷを提供する。
これにより同市への再来訪や魅力体験や購買の機会を提供し、「まちの賑わいをつくる」ことを目指す。

今後の展開

本事業の来訪促進効果および消費金額向上効果を測定し、南海電鉄沿線で利用者拡大を図るとともに、全国の地方公共団体や商業施設および交通事業者への導入、各地域の活性化を目指す。

事業実施区域

事業体制